



七小だより

令和4年(2022年)1月31日
国立市立国立第七小学校
校長 小畑 行広
NO. 10 2月号

生きた言葉を通して

副校長 清原 周栄

先日は、授業参観にご参観いただきありがとうございました。教室での授業参観は1, 2年生にとっては入学後、初めて。また、3年生以上の学年については約2年ぶりでしたのでお子さんの成長した様子をご覧いただけたと一安心しているところです。また、保護者の皆様におかれましては、感染防止対策にご理解、ご協力をいただいたことで今回の授業参観を無事に実施することができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、1月19日に本校の6年生は「くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話」を聴きました。この取組は、国立市が平成27年(2015年)1月から始めたものです。戦後70年以上が過ぎ、戦争の記憶の風化が懸念されている中、国立市内在住の広島・長崎の原爆体験者と東京大空襲体験者の方の体験や平和への思いを次世代に継承していくことを目的として、市内の6年生対象に行われています。先日の授業では、8歳の時に東京大空襲を体験された二瓶治代さんと、長崎原爆を体験された方のお話を受け継いで伝承者として活動されている今野千穂さんにお話をいただきました。6年生児童一人一人が当時の出来事と向き合い、自分の考えを感想文にして丁寧な文字で書き記していました。



6年生の授業の様子

実は私も広島で生まれ育ったこともあり、小学生の時は、8月6日は登校日であり、原爆で亡くなった方への黙とうと、被爆された方からお話を聞く日であったと記憶しています。私の生まれた地域では、それがこの日の当たり前の光景でした。また当時は原爆を体験した方が周りにもたくさんいらっしゃったので様々な場面でお話を聞く機会がありました。

その中で今でも忘れられない言葉がいくつかあります。

「原爆で家が一瞬でなくなってしもうて、
家族もすべておらんようになってしもうたんじゃけえ。」

「絶対こんな辛い思いをしてほしくないんよ。」

戦争をしたら大人、子供関係なくこんなひどいことになるんよ。」

日頃、笑顔で話しかけてくださる気さくな近所のおばちゃんやおじちゃん達もこの時になると涙を浮かべながら、当時の様子を語ってくださったのを今でも鮮明に覚えています。

お話の最後には、

「こんな恐ろしいことは経験せんでええ。」

じゃけど、絶対に忘れちゃあいけんことじゃけえ、
こうやって一人でも多くの人に伝えとるんよ。」

その時の真剣な眼差しと「生きた言葉」が40年経った今でも私の心に刻まれています。

東京都で教師になってからは、私自身が聞いた当時の様子と言われた言葉を思い出し、クラスの子供たちに折に触れ話してきました。子供たちは、私の言葉に真剣に耳を傾けて聞いてくれていました。改めて思うのですが、人から人へと思いをこめて直接語りかける「生きた言葉」が子供たちの心を動かすのかもしれない。

6年生が今回の授業で学んだ思いや願いを、これからの人生を歩んでいく礎になると信じています。今回の授業では、二瓶治代様、今野千穂様には、大変お世話になりました。

心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今後の感染症対策について

社会情勢を踏まえ、東京都においては、1月21日から2月13日まで、都内全域を対象地域としてまん延防止等重点措置を実施することになりました。国立市教育委員会、小中校長会、学校医等関係機関と連携を密にし、感染症対策を徹底して教育活動を進めてまいります。1月28日に配布した「まん延防止等重点措置の適用に伴う新型コロナウイルス感染症対策のご協力をお願い」に基づいて教育活動を進めてまいりますのでご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

アンケートへのご協力、ありがとうございました

—保護者アンケートの結果をご報告いたします—
校長 小畑行広

先日の授業参観、書き初め展にご来校をいただき、ありがとうございました。以前ご協力いただきました令和3年度の教育活動に対するアンケート結果をご報告いたします。

七小の教育

■とてもそう思う ■そう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

子供たち一人一人が互いに認め合い、生き生きと楽しく登校できるように工夫した指導や環境づくりに努めている。

1 人権教育 43.9% 52.30% 3.8%

子供たちの体力向上や健康な心と体をつくるための指導や、感染症拡大防止のための指導に努めている。

2 健康教育 54.1% 43.6% 2.3%

日々の授業や学校生活を通して、子供たちの道徳性を高められるよう指導に努めている。

3 道徳教育 37.4% 53% 4.6%

学校からのおたより・ホームページなどを通して、学校の様子がよく伝わるよう情報発信に努めている。

4 情報発信 42.1% 51.1% 6.8%

保護者からの連絡、相談に対して、教職員は誠実に対応している。

5 保護者との連携 60.7% 37% 2.2%

感染症対策、避難訓練、通学路点検、メール配信による不審者情報提供など、学校は児童の安全に努めている。

6 安全対策 59.3% 39.3% 1.5%

日常の指導法の工夫、タブレット端末の活用など、子供の学力の保障に向けて学校は努力めている。

7 学習指導 38.2% 45.8% 15.3% 0.8%

あいさつの励行や規範意識の醸成など、子供の成長段階に応じた基本的な生活習慣や態度を身に付けられるよう指導に努めている。

8 生活指導 43.8% 53.1% 3.1%

今年度は8項目についてご回答いただきました。保護者の皆様のご意見を来年度の参考にさせていただき、教育活動において、よいものは継続し、課題については改善を目指し計画を進めてまいります。また、新たな取組として、オンラインでの回答も実施いたしました。昨年度 48%の回収率から 52%と上昇しております。こちらにつきましてもご協力いただき、ありがたく存じます。お忙しい中、ご回答いただきありがとうございました。なお、オンライン回答につきましてはシステムの都合上、「学年」の複数回答ができず、お手数をおかけしたこと、お詫び申し上げます。

今年度のアンケート全項目とも 90%以上の方から「とてもそう思う」「そう思う」と肯定的なご意見をいただきました。

意見欄では（表現を一部変更させていただいたものあります）

○日常業務だけでもとてもお忙しい中、コロナへの対応、またその中での行事や学習への工夫や試みに感謝しております。おかげさまで、子供の活動や、日々の学習のフォローがとてもしやすいです。一方、先生や職員のみなさまの負担が増えすぎないように、学校側でバランスをとられているよう願います。

○学校便り・校長室便り・学年便り・学級便りと先生方が情報を細やかに発信し、こちらに届けようとしてくださる姿勢に感謝でいっぱいです。

○様々な意見のある中で、子供たちの教育に向き合うことはとても大変だろうと思慮します。世間では先生方のご負担が大きいことをニュースで見聞しますが、なるべく負担のないようにご対応頂きたいと思っています。今までの慣習でやらなくても良いものもおそらくあるかと思ひますし、コロナ禍を経て簡素化したものは、そのメリットもあると思ひますので、今後の学校運営に活かしていただきたいです。

○コロナ状況下における学校生活ですが、事故なく過ごすことができおり深く感謝しております。
○先生方のご指導のおかげで、最高学年としての自覚が芽生え、自信につながっているようです。
など、多くの嬉しいお言葉をいただきました。すべてをご紹介できず申し訳ありません。全教職員が拝読し、大変励まされました。ありがとうございます。

以下は、アンケートでご質問、ご意見をいただいた内容とその回答を掲載します。(アンケート内容の文面は、趣旨を変えず簡略化しているものもあります)

☆フォームアンケートは回答がし易いです。学年選択欄は複数回答、もしくは下の学年での回答をすべきか悩みました。
⇒今回初めてオンライン回答を導入しました。学年の複数選択については機能上行うことができません。きょうだい関係があるご家庭につきましては複数回答いただくこととなり、ご迷惑をおかけしました。来年度は複数回答の願いを事前にアナウンスいたします。また、オンライン回答をいただいたご家庭が非常に多く、来年度も実施してまいります。

☆コロナ禍で大変だと思いますが、見学の日時を分散して、短時間でもいいので授業見学の場を作ってほしいと思います。
☆コロナ禍になってしまい、親も学校に行けなくなりました。少し残念でなりません。
☆学校公開がないので、学校の様子が分からない。もう少し日常の様子が知りたい。
⇒これまでの土曜公開ができる状況になく、保護者の皆様にはお子さんの学校生活の様子をお見せできず、教職員一同、心苦しい思いでした。1月より平日限定で感染症対策の下、授業参観を設定させていただき、少しでもお子さんの様子をお見せできたことが何よりです。来年度も教育委員会と確認し、状況を見計らいながら、土曜日の学校公開または平日の授業参観と臨機応変に設定してまいります。

☆オンライン学習やPCを使用した学習をより活用していただけるとありがたいです。
☆タブレットの活用について、子どもから話を聞いたたり、新聞等で目にしたりすることもあります。どれくらい、どのように活用しているのか、具体的に知りたいです。
⇒現在どの学年の児童も自分でログインし、必要に応じて活用しています。高学年ではChromebookを活用してプレゼン資料の作成、内臓カメラを使って体育の授業で撮影し、フォームの確認をすることなどに使用しています。中学年では、個々の考えの共有や学習に必要なことを調べるツールとして使用しています。低学年ではミライシード内のドリルパークで学習の復習や課題の提出などを行っています。2学期以降、どの学年でも積極的に活用し、子供たちもかなり慣れてきました。今学期中にChromebookを持ち帰り、家庭学習でも使用できるよう準備を進めております。

☆一人で下校することが多いので、集団下校の仕組みがあると安心です。
⇒年に1回、ペア学年による方面別下校を実施しています。これは家の近くにどんな子が住んでいるのか、学年の枠を越えて顔見知りになることを目的としています。日常では授業時間の違いから集団下校が難しい状況にあります。非常事態に備えた訓練は今後も行います。
日常においては「可能な限り同じ方面の子と一緒に帰るように」と学級指導しておりますが、こちらについても継続して指導してまいります。

〜**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~

いただいたアンケートについては、全教職員で供覧しました。今後の学校経営の参考にいたします。また、紙面の関係などでここではお答えできなかったものにつきましては、お気軽に学校までお尋ねください。引き続き、本校の教育活動に関してご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

〜**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~

なわとびチャレンジ週間

1月24日(月)～2月4日(金)

体育的行事委員会

1月24日(月)から、なわとびチャレンジ週間が始まりました。冬休み明け早々に、短なわの準備をしてくださり、ありがとうございました。

短なわの活動は、体育の授業や休み時間に行っています。子供たちになわとびチャレンジカードを配布してすぐに、校庭で元気よく跳んでいる姿が見られました。1～3年生用と4～6年生用のなわとびチャレンジカードがあり、それぞれ挑戦する種目や回数が違います。子供たちはそのカードを見ながら、さらにできるようにになりたいというチャレンジ精神をもって取り組んでいます。また、全校で楽しく活動ができるように、運動委員会の子供たちが動画を作り、盛り上げてくれました。

感染症対策をした上で、体力向上を目指して、残りの1週間楽しく取り組むことができるようにしていきます。



わくわく発表会について

学芸的行事委員会

生活科・総合的な学習の時間の学習発表の場である「わくわく発表会」ですが、今年度は、「わくわく WEEK」と称して14日(月)から1週間かけて、各学年で発表を行います。感染症対策を講じた上で、子供たちが安心、安全に学習活動を進められるように指導、準備してまいります。なお、感染状況を鑑み、保護者の皆様のご参観は中止とさせていただきます。ご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。

【2月の予定】

- | | | | |
|--------|---------------------|--------|---------------------|
| 2日(水) | 午前授業 研究授業(1-2) | 16日(水) | 桜守校外学習(6年) |
| 3日(木) | 5時間授業 希望個人面談④ | 19日(土) | 土曜授業 午前授業 |
| 4日(金) | なわとびチャレンジ週間終 | | 会場片付け(5年) 学校評価委員会 |
| 7日(月) | 委員会活動 | 21日(月) | クラブ活動 |
| 8日(火) | 1・2年午前授業 新1年生保護者会 | 22日(火) | 社会科見学(4年 西東京方面) |
| 9日(水) | 薬物乱用防止教室(6年) | 23日(水) | 天皇誕生日 |
| | 避難訓練 PTA運営委員会 | 24日(木) | 社会科見学(6年 科学技術館・江戸博) |
| 10日(木) | 桜守学習(6年) | | 桜守校外学習(1年) |
| 11日(金) | 建国記念の日 | 25日(金) | 桜守校外学習(2年) |
| 14日(月) | クラブ活動 わくわく WEEK | 28日(月) | 委員会活動 |
| | 文化幼稚園交流(1-1) | | |
| 15日(火) | 安全指導 5時間授業 保護者会(6年) | | |
| | 指導教諭模範授業 | | |

※社会状況に応じて、変更となる可能性があります。その都度、メールや学年だより等でお知らせいたします。